

株式会社グローブ・一般社団法人グローブソーシャル

倫理委員会（虐待防止委員会） 規程

（委員会の設置）

第1条 株式会社グローブが運営する障害福祉サービス事業所（以下「事業所」という。）が行う障害福祉サービスにおいて、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、利用者の安全と人権保護の観点から虐待の防止とその適切な対応（以下「虐待防止」という。）の推進に関する委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（委員会の目的）

第2条 この規程は委員会の運営について、必要な事項を定める事を目的とする。

- （2） 法人内で働くすべての人の職業倫理向上に努める。
- （3） 虐待防止委員会の役割を担う。虐待等発生の防止・発生時の対応について協議を行う。
- （4） 事故・ヒヤリハット案件の検討

（委員会の組織）

第3条 委員会は 委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- （2） 委員長は代表取締役が指名する者とし、副委員長は委員の中から委員長が指名する。
- （3） 委員の選任については、当該事業所の管理者（以下「管理者」という。） 及びサービス提供責任者もしくはサービス管理責任者（以下「責任者」という。）、その他必要とされる者の中で委員長が指名した者とする。
- （4） 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- （5） 委員長が指名した委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- （6） 各事業所においては、事業所部会を設置して、管理者、責任者、及び支援員を構成員として、定期的に又は適時、委員会を開催し、虐待の防止等に努める。

（委員会の開催）

第4条 委員会は、年3回以上開催する。

- （2） 委員長は、委員会において必要があるときは、前条に定める委員の他に、参考人として指名した者の出席を求めることができる。
- （3） 委員会は書記を指名し議事録を整備する。
- （4） 事業所部会の開催は必要に応じて、事業所管理者が招集し開催する。

(委員会の業務)

第5条 委員会は、次の業務を行う。

- ① 「職員倫理綱領」「職員行動規範」を職員に周知し、行動規範とするよう啓発する。
- ② 「虐待の分類」について、職員に周知することと、定期的な見直しを行い、疑いのある項目を足していく。
- ③ 「虐待を早期に発見するポイント」に従い、「虐待発見チェックリスト」結果による調査を必要あるごとに実施する。
- ④ 上記の実施した調査の結果、虐待や虐待の疑いがあるときは、虐待防止受付担当者に報告する。
- ⑤ 研修日程の調整を行い、虐待防止に係る研修を年3回以上行うこととする。
- ⑥ その他、法令及び制度の変更のあるごとに委員会を開催し、規定等の見直しを行うこととする。
- ⑦ 委員会はヒヤリ・ハットや事故事例を蓄積し、委員会にて分析及び実施体制の評価・検証を行う。分析結果を本部会議に報告し対策等を法人内で共有する。

(委員会の責務)

第6条

- ① 委員会は、虐待が起こらないよう事前の措置として、職員の虐待防止意識の向上や知識を周知し、虐待のない施設環境づくりを目指さなければならない。
- ② 委員は、日頃より社会福祉法・知的障害者福祉法のみならず障害者自立支援法や障害者の権利宣言等の知識の習得に努めるだけでなく、人格（アイデンティティ）の向上にも努めるものとする。
- ③ 委員会の委員長・委員は、日頃より利用者の支援の場に虐待及び虐待につながるような支援が行われていないか観察し、必要があるときは職員に直接改善を求めたり、指導することとする。
- ④ 委員会は、その他の各委員会とも連携をとり利用者の虐待の疑いのある事案や支援等に問題がある場合は、各委員会と協議し、協同で会議を開催する等、虐待防止の対応・対策及び改善を図るものとする。

(その他)

第7条 苦情及び説明・同意については事業所の利用契約書及び重要事項説明書に準拠し対応する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項、虐待防止上必要な対応については、委員長が委員に諮り、理事会にて協議し定めるものとする。

附 則 この規程は平成30年1月1日から施行する。

令和3年9月改定